日本心理学会公開シンポジウム

医療における心理学の広がりを考える

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>話題提供者</th>
<th>テーマ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大阪会場</td>
<td>矢永 由里子（慶應義塾大学）</td>
<td>HIV医療における心理支援</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>小池 真規子（目白大学）</td>
<td>がん医療における心理支援</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>須藤 優（広島大学）</td>
<td>透析医療における心理支援</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>話題提供者</th>
<th>テーマ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>富山会場</td>
<td>有村 達之（九州ルーテル学院大学）</td>
<td>病み医療における心理支援</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>佐藤 聡美（成育医療研究所センター）</td>
<td>小児がん医療における心理支援</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>藤本 洋子（山王教育研究所）</td>
<td>周産期医療における心理支援</td>
</tr>
</tbody>
</table>

企画・司会
井村 修（大阪大学）
松井 三枝（富山大学）

医療の発展に伴って、精神の病に直接関与しない多くの種類の疾患においてもより高度な支援が求められるようになってきました。現在、様々な医療領域における心理学のニーズが高まっていますが、心理学がいかに貢献しうるかを考えることは重要であり、医療現場では必要の状況になりつつあります。本シンポジウムでは、現在医療現場で活躍の話題提供者にお話をいただき、医療分野における新たな心理学の役割を考えたいと思います。

2015 11.7 SAT 13:00〜16:30 定員200名[入場無料]

■大阪会場
大阪大学 吹田キャンパス 人間科学研究所本館5F 51番教室
〒565-0871 大阪市吹田区山田町1-12

■富山会場
富山大学 五福キャンパス
〒930-8555 富山市五福3190番地

※参加希望の方は必ず事前にお申込みください。お申込みいただいていない方は、ご入場いただけない場合がございます。

日本心理学会
Tel:03-3814-3953 Fax:03-3814-3954 E-mail:jpsa-event@psych.or.jp http://www.psych.or.jp/